

日本国際保健医療学会 第35 回東日本地方会（第2 日目）

テーマ：研究

日時：2021 年4 月3 日

総合司会：柴沼晃

- 13:00 開会挨拶・神馬征峰ー若井晋先生からのメッセージ
- 13:15 基調講演「ポストコロナ社会の見取り図と、研究者ができること」
講演：山本太郎（長崎大学熱帯医学研究所・教授）
座長：市川政雄（筑波大学医学医療系・教授）
（講演 30 分：質疑応答 15 分）
- 14:00 特別講演「バングラデシュ結核対策支援国際協力 40 年の経験より」
その2 参加型アクションリサーチ (Participatory Action Research) の実践
講演：石川信克（結核予防会結核研究所）
司会：村上仁（国立国際医療研究センター）
（講演 25 分：質疑応答 10 分）
- 14:35 休憩
- 14:45 クイズ：東京大学・国際地域保健学教室
- 15:00 一般口演
1. 第 1 セッション(研究:日本語) 座長：大川純代（大阪国際がんセンターがん対策センター）
- B001 「農園の移民の家族生活史と健康生活 ー高齢者インタビューからー」
磯邊厚子（聖泉大学看護学部看護学科）
- B002 「シエラレオネ共和国における多義性コミュニティとコミュニティヘルスワーカーの活動と
役割の実際」
鐘ヶ江紗里（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科）
- B003 「産科病棟看護師が認識する医療通訳介入におけるニーズ」
小野衣美（(元)山梨県立中央病院）
- B004 「本邦におけるインバウンド海外渡航客と気象条件に関連した RS ウイルス感染症の流
行時期の変化」
我妻奎太（新潟大学医歯医学総合研究科 国際保健分野学）
2. 第 2 セッション(研究:英語) 座長：Ken IC Ong（東京大学大学院医学系研究科）
- B012 「新たな患者の多様性への対応：日本における多言語健康情報のサブナショナル評価」
Russel Miller（東京大学大学院医学系研究科）
- B013 「Re-evaluated treatment outcomes of bacteriologically positive tuberculosis patients registered
at a clinic in Lusaka, Zambia in 2018」
Daka Samuel（公益財団法人 結核予防会）
- B014 「母子手帳や健康に関するその他家庭用記録がコミュニケーション、満足度、母子のボ
ンディングに果たす役割：システムティック・レビュー」
カラندان, ロジー・ロイス（東京大学大学院医学系研究科）
- B015 「ウガンダにおけるポジティブ・デビエンス介入による二重避妊法使用の促進」
小杉 穂高（東京大学大学院医学系研究科）
- 16:00 振り返り、閉会挨拶